

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	08	文化振興費
大事業	001	文化振興事業							
中事業	01	文化振興事業							

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	7	生涯を通じて学び・育つまちづくり	所管部局	教育委員会事務局 文化課
	基本計画	7-4	歴史・文化・芸術の伝承と振興		
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	有		坂井市全国文化芸術大会出場激励金支給要綱ほか		
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	全国大会に出場する市民に対し、大会での活躍を激励するとともに激励金を支給し、本市の文化芸術の向上を図る。また、市民が主体となって活動する「坂井市文化未来会議」を開催し、幅広く市民の意見を求め、市の文化施策推進を図る。
実施手段等	<ul style="list-style-type: none"> 文化芸術の全国大会出場者に対して激励金を交付する制度を周知するため、市のHP・広報への掲載および小中高校（市内外）へ年度当初に通知する。 文芸、文化財、観光、まちづくり等の様々な分野からの人材で構成する文化未来会議を開催し、坂井市の文化のあり方や方向性について検討する。

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	1,311	2,338	632
	人件費	6,847	3,554	4,976
	総事業費	8,158	5,892	5,608
人員	正職員	1.02 人	0.50 人	0.70 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	1.02 人	0.50 人	0.70 人
財源内訳	国県支出金		857	632
	その他特定財源	60	40	
	一般財源	8,098	4,995	4,976

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	全国大会出場者数	人	目標	30	30	30	30
			実績	36	30	56	16
			達成率(%)	120.00	100.00	186.67	53.33
指標の説明		年度内に申請のあった全国大会出場者数					
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標に基づく評価		年々、個人での全国出場者は増加傾向にあり（高校の部活動による団体出場は別）、今後も継続した周知活動を図っていく。					

5. 事業に対する評価

現状と課題	有効性に課題	
	文化未来会議での協議は活発であるが、その内容がすぐに反映されるものではないため何らかの形で提言できると良いか。	
これまでの見直しや改善等の実績	激励金の支給に対しては、国内のみならず国際規模の大会に出場するケースも出てきているため、要綱を見直し、国際規模大会出場へと枠の拡大を検討	

6. 今後の方向性

短期的な方向性		改善（見直し）	中長期的な方向性	
目標年度	平成29年度		目標年度	
方向性の説明	激励金支給要綱を見直し、国際規模大会出場に対しても支給対象とする。			

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	08	文化振興費
大事業	001	文化振興事業							
中事業	06	文化団体補助事業							

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	7	生涯を通じて学び・育つまちづくり	所管部局	教育委員会事務局 文化課
	基本計画	7-4	歴史・文化・芸術の伝承と振興		
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	補助金事業（団体補助）	
根拠法令	無				
根拠例規	有		教育委員会文化課所管補助金等交付要綱		
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	地域性豊かな伝統文化の継承と文化活動の振興を図ることを目的に、（公財）丸岡文化財団及び坂井市文化協会の実施する文化活動事業を支援する。
実方手法手段	手紙の館、丸岡城を始めとする周辺関連施設の管理運営及び「まるおか子供歌舞伎事業」を行う丸岡文化財団及び坂井市文化協会が行う事業に対し、補助を行う。

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	29,863	21,989	28,154
	人件費	3,021	1,493	1,898
	総事業費	32,884	23,482	30,052
人員	正職員	0.45 人	0.21 人	0.27 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.45 人	0.21 人	0.27 人
財源内訳	国県支出金			
	その他特定財源	78		
	一般財源	32,806	23,482	30,052

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	文化協会活動事業数	件	目標	100	130	130	130
			実績	81	88	112	116
			達成率(%)	81.00	67.69	86.15	89.23
成果	指標の説明 坂井市文化協会が行う主催・共催・後援事業等の件数						
指標	文化協会会員数	人	目標	2,800	3,000	3,050	3,150
			実績	2,588	2,609	2,888	2,909
			達成率(%)	92.43	86.97	94.69	92.35
成果	指標の説明 加入活動による坂井市文化協会の会員数						
指標	一筆啓上賞応募者数	通	目標				
			実績	44,348	27,657	33,236	41,237
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
成果	指標の説明						
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
成果	指標の説明						
指標に基づく評価	会員数が年々減少の一途をたどっており、活動事業数の減もいたしかたない状況であるが、団体としては自助努力により市への貢献度は大きい。						

5. 事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題	
	高齢化に伴う文化協会会員数が年々減となるなか会費の増額も難しく、若年層の取り込みを図るとともに、有効な収入策を引き続き検討していく必要がある。	
これまでの見直しや改善等の実績	助成事業や企業への協賛金を求める等、自助努力による収入策に取り組んでいる。	

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度			目標年度		
方向性の説明	総合美術展や文化祭、一筆啓上賞頭賞式への小中学校・高校の文化部等に運営協力並びに出品要請を図り、若年層の取り込みに努めていく。				

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	08	文化振興費
大事業	001	文化振興事業							
中事業	11	文化活動支援事業							

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	7	生涯を通じて学び・育つまちづくり	所管部局	教育委員会事務局 文化課
	基本計画	7-4	歴史・文化・芸術の伝承と振興		
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	優れた舞台芸術公演を鑑賞する機会や発表する場を提供することにより、地域の文化芸術水準の向上や活性化を図るとともに、市民の文化活動への積極的な参加を推進する。
実方手法手段	<ul style="list-style-type: none"> 市民文化祭は実行委員会に委託して開催 公演事業（受託）及び企画支援事業は、市文化振興事業団に委託

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	39,199	38,195	37,943
	人件費	3,759	2,275	2,844
	総事業費	42,958	40,470	40,787
人員	正職員	0.56 人	0.32 人	0.40 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.56 人	0.32 人	0.40 人
財源内訳	国県支出金			
	その他特定財源	392		
	一般財源	42,566	40,470	40,787

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
指標	文化祭作品出展数	点	目標	5,000	5,000	5,000	5,000
			実績	7,302	7,194	6,041	5,477
			達成率(%)	146.04	143.88	120.82	109.54
成果	指標の説明 文化協会会員の活動成果を発表						
指標	文化祭来場者数	人	目標	10,000	10,000	10,000	10,000
			実績	12,098	12,473	12,642	10,859
			達成率(%)	120.98	124.73	126.42	108.59
成果	指標の説明 開催周知活動による来場者数						
指標	公演事業入場料収入	千円	目標	13,000	16,648	11,585	8,680
			実績	12,132	13,827	8,500	6,094
			達成率(%)	93.32	83.06	73.37	70.21
活動	指標の説明 広報活動によるチケット売上						
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標	指標に基づく評価 各団体の周知・広報活動により、一定の目標はほぼ達成できていると考えるが、今後も継続した自助努力は必要である。						

5. 事業に対する評価

現状と課題	妥当性に課題	効率性に課題	
	文化祭の一本化により効率化が図れると考えられる半面、文化振興の後退につながることも懸念される。公演事業においては、市民のニーズに応じた公演を行っていく。		
これまでの見直しや改善等の実績	文化祭の一本化について文化協会と協議をしているが、依然として各地区での開催を望む声が高い。		

6. 今後の方向性

短期的な方向性		中長期的な方向性		継続
目標年度		目標年度		
方向性の説明	文化祭は、会員相互の熱心な取り組みにより各地区会場での開催に大きな支障もなく、開会式のみ一本化し、4会場で展示・芸能発表を行う形式が市の文化祭のあり方として定着しており、当面は現状のまま継続実施していく。公演事業についても、リニューアルした施設の有効活用を検討しながら実施していく。			

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	08	文化振興費
大事業	001	文化振興事業							
中事業	021	一筆啓上手紙資料館管理運営事業							

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	7	生涯を通じて学び・育つまちづくり	所管部局	教育委員会事務局
	基本計画	7-4	歴史・文化・芸術の伝承と振興		文化課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	施設管理事業	
根拠法令	無				
根拠例規	有		坂井市一筆啓上日本一短い手紙の館条例、同条例施行規則		
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	「一筆啓上賞」の作品や「かまぼこ板の絵」とのコラボ作品の展示、手紙にまつわる企画等を行う（公財）丸岡文化財団は、手紙の館を運営し、地域独自の文化振興及び市民交流やにぎわいの創出、丸岡城観光の充実を図る。
実施手法等	手紙の館の事業運営を丸岡文化財団に委託するとともに、その運営状況に対して、地域の有識者等で構成する審議会にて検討・助言等を行う。

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	21,710	26,222	
	人件費	2,819	2,844	
	総事業費	24,529	29,066	0
人員	正職員	0.42 人	0.40 人	人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	人
	人員計	0.42 人	0.40 人	0.00 人
財源内訳	国県支出金			
	その他特定財源	1,282	1,282	
	一般財源	23,247	27,784	0

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	手紙の館入館者数	人	目標	20,000	20,000		
			実績	21,394	12,433		
			達成率(%)	106.97	62.17	0.00	0.00
指標の説明		広報活動による入館者数					
指標	企画展・イベント等開催数	件	目標	24	16		
			実績	29	16		
			達成率(%)	120.83	100.00	0.00	0.00
指標の説明		丸岡文化財団が行う企画・展示事業等の件数					
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標に基づく評価		夏季に約1ヶ月間の特別展を開催したところ、入館者数の伸びが見られ、今後も継続した企画の運営は必要であると考えます。					

5. 事業に対する評価

現状と課題	有効性に課題	
	丸岡城入場者を当館に誘導する体制がうまく機能していないこともあり、入館者数が伸び悩んでいる。次年度以降、丸岡城との共通券を導入することにより入館者増を図る。	
これまでの見直しや改善等の実績	誘導案内板の設置や丸岡城への観光バスの駐車場を当館裏に移設するなど、入館者増を図った。	

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性	
目標年度	平成29年度		目標年度	
方向性の説明				

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	08	文化振興費
大事業	051	文化施設管理運営事業							
中事業	02	文化の森・文化未来館管理運営事業							

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	7	生涯を通じて学び・育つまちづくり	所管部局	教育委員会事務局 文化課
	基本計画	7-4	歴史・文化・芸術の伝承と振興		
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	指定管理事業	
根拠法令	有	地方自治法			
根拠例規	有	坂井市文化の森・YURI文化情報交流館条例、みくに文化未来館条例ほか			
関連計画・マニュアル	有	坂井市教育振興基本計画			

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	文化施設の適切な維持管理を行うとともに、市民の文化振興を図る。
実手法手段	市の文化活動の拠点施設として、指定管理者による適切な管理を行うとともに、修繕及び改修については、長期的な視野に立ち計画的に行う。

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	120,973	119,616	176,915
	人件費	6,042	3,199	3,163
	総事業費	127,015	122,815	180,078
人員	正職員	0.90 人	0.45 人	0.45 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.90 人	0.45 人	0.45 人
財源内訳	国県支出金			
	その他特定財源		500	13
	一般財源	127,015	122,315	180,065

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
指標	ハートピア春江利用料収入	千円	目標	11,500	11,500	13,100	13,000
			実績	10,806	10,711	10,790	13,354
			達成率(%)	93.97	93.14	82.37	102.72
指標の説明							
指標	ハートピア春江利用者数	人	目標	110,000	113,100	105,600	108,500
			実績	113,573	111,126	110,055	159,055
			達成率(%)	103.25	98.25	104.22	146.59
指標の説明							
指標	みくに文化未来館利用料収入	千円	目標	1,700	1,700	1,650	1,600
			実績	1,339	1,330	1,849	1,526
			達成率(%)	78.76	78.24	112.06	95.38
指標の説明							
指標	みくに文化未来館利用者数	人	目標	15,000	41,000	40,000	11,800
			実績	146,597	67,435	42,891	14,834
			達成率(%)	977.31	164.48	107.23	125.71
指標の説明							
指標に基づく評価	みくに文化未来館の利用者数については、東海北陸B1グランプリ in SAKAIの開催で大きく上回った。実績の流れを見れば、微増しており、経営努力が図られている。						

5. 事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題	
	両館とも施設を運営する人員は最小で行っており、これ以上の効率化は業務を行う上で支障が出ると思われる。また、市民育成型事業や参加型事業など、採算性のない事業も行わなくてはならず、現状の指定管理者のような半官半民の形態を持つ事業者が事業委託することが望ましいと考える。	
これまでの見直しや改善等の実績	受益者負担適正化への見直しについては、坂井市みくに市民センターの建設に伴い、他市の文化施設の状況も鑑みて、見直しを行った。	

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度			目標年度		
方向性の説明	平成29年11月に坂井市みくに市民センターがオープンし、坂井市みくに文化未来館の文化ホール機能が市民センター（みくに未来ホール）へ移転となる。みくに文化未来館の継続施設として、みくに市民センターの管理運営も、ハートピア春江とともに図っていく。				

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	09	文化財保護費
大事業	001	文化財保護審議会運営事業							
中事業	01	文化財保護審議会運営事業							

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	7	生涯を通じて学び・育つまちづくり	所管部局	教育委員会事務局
	基本計画	7-4	歴史・文化・芸術の伝承と振興		文化課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	有	文化財保護法			
根拠例規	有	坂井市文化財保護条例、坂井市文化財保護審議会規則			
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	新たな文化財の指定に関する諮問や調査、市の文化財保護施策に関する討議などを通して、文化財の保護を図る。
実方手法手段	文化財保護審議会の開催及び運営（委員数9人、任期2年）

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	187	188	188
	人件費	3,759	5,181	5,474
	総事業費	3,946	5,369	5,662
人員	正職員	0.56 人	0.70 人	0.77 人
	臨時職員	0.00 人	0.10 人	0.00 人
	人員計	0.56 人	0.80 人	0.77 人
財源内訳	国県支出金			
	その他特定財源			
	一般財源	3,946	5,369	5,662

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
指標	会議1回当たりの議案処理件数	件	目標	2	2	2	2
			実績	3	1	1	1
成果	指標の説明	達成率(%)		150.00	50.00	50.00	50.00
		指標の説明					
指標	処理議案件数	件	目標	4	2	4	4
			実績	6	2	3	2
活動	指標の説明	達成率(%)		150.00	100.00	75.00	50.00
		指標の説明					
指標	会議開催回数	回	目標	2	2	2	2
			実績	2	3	3	2
活動	指標の説明	達成率(%)		100.00	150.00	150.00	100.00
		指標の説明					
指標			目標				
			実績				
	指標に基づく評価	達成率(%)		0.00	0.00	0.00	0.00
		指標の説明	文化財指定の案件が増えているため、今後も継続したい。				

5. 事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題	有効性に課題	
	文化財保護に関する審議は非営利的な面も多くあり、民間ではなく行政が行うのが妥当。効率化については、審議内容をさらに精査することでより充実した審議会となる。また、専門性の高い会議のため、他の統合等は難しいが、その内容を市民に還元するなどの作業の中で、他の関連事業に絡めることができる可能性はある。		
これまでの見直しや改善等の実績	平成28年度の新規指定はなかったが、新規指定に向け次年度継続の案件もあるため、早急に対応する必要がある。		

6. 今後の方向性

短期的な方向性	継続	中長期的な方向性	継続
目標年度		目標年度	
方向性の説明	今後も調査を継続し、適宜指定や登録への審議・調査を行う。指定に関しては、多くに有識者に調査指導を受けられる環境を整えるとともに、活用についても今後審議していく。		

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	09	文化財保護費
大事業	051	文化財保存事業							
中事業	01	文化財保存管理事業							

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	7	生涯を通じて学び・育つまちづくり	所管部局	教育委員会事務局 文化課
	基本計画	7-4	歴史・文化・芸術の伝承と振興		
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	有	文化財保護法			
根拠例規	有	坂井市文化財保護条例、教育委員会文化課所管補助金等交付要綱			
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	文化財の保存管理に必要な措置を講じ、貴重な文化財を後世に伝えるため、広く市民への公開や活用を通して、文化財保護意識の啓発を行います。
実施手段等	<ul style="list-style-type: none"> 市が所有・管理する史跡等の維持管理を行う。 指定文化財所有者に対し、管理奨励金を交付して適切な管理を支援する。 無形文化財保持者・保持団体に対し、補助金を交付して活動を支援する。 指定文化財所有者に対し、補助金を交付して保存修理事業を支援する。

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	4,252	16,893	24,670
	人件費	8,458	6,754	6,325
	総事業費	12,710	23,647	30,995
人員	正職員	1.26 人	0.95 人	0.90 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	1.26 人	0.95 人	0.90 人
財源内訳	国県支出金	117	117	117
	その他特定財源	548		
	一般財源	12,045	23,530	30,878

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
指標	指定文化財の補助実施率	%	目標	11.0	11.0	11.0	11.0
			実績	9.0	10.0	9.0	8.0
			達成率(%)	81.82	90.91	81.82	72.73
成果	指標の説明 指定文化財数に対する保存・活動補助の実施割合						
指標	指定文化財の毀損・滅失による解除件数	件	目標	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
成果	指標の説明 毀損・滅失により、文化財の指定を解除した件数						
指標	文化財補助金支出件数	件	目標	12	11	11	11
			実績	11	13	11	10
			達成率(%)	91.67	118.18	100.00	90.91
活動	指標の説明 年度に実施した文化財の補助事業の件数						
指標	文化財の新規指定件数	件	目標	2	1	0	0
			実績	1	2	0	0
			達成率(%)	50.00	200.00	0.00	0.00
活動	指標の説明 新たに文化財に指定された件数						
指標に基づく評価	補助の実施率や支出件数については、ある程度安定して実施できているが、新規指定件数が増える中で、数値が横ばいのみであることは文化財全体に事業効果が行き渡らない可能性がある。						

5. 事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題	
	無形文化財保持団体の活動区切りが年度ではなく、年で活動していることから、団体では年度区切りの補助申請や実績報告を作成する必要がある。年度への変更は、区役員の任期等により、難しい。	
これまでの見直しや改善等の実績		

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		拡充
目標年度	平成30年度		目標年度	平成34年度	
方向性の説明	平成33年度に、文化財の基本計画となる歴史文化基本構想の策定予定であり、その計画を受けて、文化財の指定推進、文化財の保存修理を進めていく。				

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	09	文化財保護費
大事業	051	文化財保存事業							
中事業	11	埋蔵文化財発掘調査事業							

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	7	生涯を通じて学び・育つまちづくり		所管部局	教育委員会事務局 文化課
	基本計画	7-4	歴史・文化・芸術の伝承と振興			
総合戦略	政策パッケージ					
	施策					
事業区分	自治事務（義務的なもの）		事業種別	ソフト事業		
根拠法令	有	文化財保護法				
根拠例規	無					
関連計画・マニュアル	無					

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	開発事業による埋蔵文化財の破壊や滅失を防ぎ、埋蔵文化財の保護と開発事業との円滑な調整を図るとともに、調査結果を広く公開し、文化次保護意識の向上と啓発を図る。
実方手法手段	周知の遺跡内で土木工事を行う場合に、試掘調査を実施し記録する。

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	3,973	4,657	6,344
	人件費	7,988	6,303	6,537
	総事業費	11,961	10,960	12,881
人員	正職員	1.19 人	0.80 人	0.72 人
	臨時職員	0.00 人	0.30 人	0.59 人
	人員計	1.19 人	1.10 人	1.31 人
財源内訳	国県支出金	1,000	1,000	2,000
	その他特定財源	57		
	一般財源	10,904	9,960	10,881

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	届出1件当たりの処理コスト	円	目標				
			実績	61,920	85,638	90,910	16,600
成果	指標の説明	達成率(%)		0.00	0.00	0.00	0.00
		指標の説明					
指標	調査面積	㎡	目標	400.0	400.0	300.0	300.0
			実績	523.4	529.8	657.0	732.4
活動	指標の説明	達成率(%)		130.84	132.44	219.00	244.12
		指標の説明					
指標	発掘届出件数	件	目標	70	60	60	63
			実績	84	64	62	45
活動	指標の説明	達成率(%)		120.00	106.67	103.33	71.43
		指標の説明					
指標	内容確認遺跡数	件	目標	50	50	50	40
			実績	64	61	52	40
活動	指標の説明	達成率(%)		128.00	122.00	104.00	100.00
		指標の説明					
指標に基づく評価	開発に伴う発掘調査を1件行った。新幹線に関連する調査は、ここ数年増えると思われる。						

5. 事業に対する評価

現状と課題	課題はない	
	文化庁からの指針や、県の方針等もあり、行政の専門技術者が行うのが妥当。	
これまでの見直しや改善等の実績	市内には埋蔵文化財包蔵地が多くあること、開発行為の際は届出等が必要になることをホームページ等で周知し、市内席の調査成果を公開するなど、市民に還元できるよう努めた。	

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度			目標年度		
方向性の説明					

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	09	文化財保護費
大事業	051	文化財保存事業							
中事業	21	丸岡城関連施設管理運営事業							

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	7	生涯を通じて学び・育つまちづくり	所管部局	教育委員会事務局
	基本計画	7-4	歴史・文化・芸術の伝承と振興		文化課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	指定管理事業	
根拠法令	有	地方自治法			
根拠例規	有	丸岡城条例、一筆啓上日本一短い手紙の館条例ほか			
関連計画・マニフェスト	有	坂井市教育振興基本計画			

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	丸岡城関連施設の円滑かつ現場に即した適切な管理を行い、丸岡城観光の充実と、地域の文化振興を図る。
実手法手段	丸岡城関連施設の管理運営を指定管理者に委託し、適切な管理を行う。また、丸岡城の樹木剪定や周辺の整備については、計画的に行う。

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	10,057	0	0
	人件費	3,826	0	0
	総事業費	13,883	0	0
人員	正職員	0.57 人	人	人
	臨時職員	0.00 人	人	人
	人員計	0.57 人	0.00 人	0.00 人
財源内訳	国県支出金			
	その他特定財源			
	一般財源	13,883	0	0

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	丸岡城入場料収入	千円	目標	33,200	30,197	27,000	27,000
			実績	42,476	41,887	35,877	29,689
			達成率(%)	127.94	138.71	132.88	109.96
指標の説明							
指標	丸岡城入場者数	人	目標	130,000	110,000	110,000	110,000
			実績	154,877	153,660	131,256	109,022
			達成率(%)	119.14	139.69	119.32	99.11
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標に基づく評価		観光客が年々増加し、それに伴い料金収入も増えている。今後は、手紙の館への回遊を一層図っていく。					

5. 事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題	
	丸岡城関連施設の指定管理者である一般財団法人坂井市公共施設等管路公社は、業務量に人員数が追いついていない状況であったため、人員配置等の見直しなどの課題があった。29年度より、公益財団法人丸岡文化財団に合併することで、改善を図ることができるかと期待される。	
これまでの見直しや改善等の実績	丸岡城の入場料については、丸岡歴史民俗資料館及び一筆啓上日本一短い手紙の館への入場も可能な料金設定に見直し、観光客の城周辺の回遊と賑わい創出を図った。また、丸岡文化財団への合併により、一筆啓上日本一短い手紙の館を含む丸岡城周辺の一体的な管理運営も可能となり、効率的な運営を図ることができる。	

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度			目標年度		
方向性の説明					

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	13	諸支出金	項	02	基金費	目	09	丸岡城周辺整備基金費
大	事業	01	丸岡城周辺整備基金						
中	事業	01	丸岡城周辺整備基金						

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	7	生涯を通じて学び・育つまちづくり	所管部局	教育委員会事務局
	基本計画	7-4	歴史・文化・芸術の伝承と振興		文化課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	内部管理事業	
根拠法令	無				
根拠例規	有		丸岡城周辺整備基金条例		
関連計画・マニフル	無				

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	丸岡城周辺の整備及び丸岡城に関する資料の購入に必要な財源に充てるため、丸岡城周辺整備基金を設置する。
実手法手段	丸岡城周辺整備基金の管理 平成28年度末現在 基金残高 198,181千円

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	8,058	119	153
	人件費	336	71	142
	総事業費	8,394	190	295
人員	正職員	0.05 人	0.01 人	0.02 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	人
	人員計	0.05 人	0.01 人	0.02 人
財源内訳	国県支出金			
	その他特定財源	58	119	153
	一般財源	8,336	71	142

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	年度末基金残高	千円	目標				
			実績	198,181	190,124	190,052	332,652
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標に基づく評価	引き続き基金の設置目的を踏まえた運用を図るとともに、継続的な基金積み立てを行っていく。						

5. 事業に対する評価

現状と課題	課題はない		
これまでの見直しや改善等の実績			

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度			目標年度		
方向性の説明					